

雁が音

題字提供：書道部

雁が音：本校の農場近くの広大な水田に、冬場、たくさんの雁が飛来してくる。その雁の羽音から名づけられた、本校PTA広報紙の名前です。

第29号

発行日：平成31年3月1日

発行者：江戸崎総合高等学校PTA広報委員会

印刷所：倉沢印刷株式会社

生徒数：501名 保護者数：471名 職員数：77名

◆もくじ◆	・PTA会長・学校長あいさつ 野球応援・出前授業	2
	・グリーンテクノ系列・北海道体験学習	3
	・江陵祭	4・5
	・修学旅行	6・7
	・PTA活動報告	8

新時代



平成



昭和

ごあいさつ

PTA会長 片山 勝也

もう早いもので、一年が経ってしまいました。卒業生の皆さん、ご家族の皆様方、ご卒業おめでとうございます。併せて、三年間の本校PTA活動へのご協力に心から感謝申し上げます。

さて、私自身も娘の入学以来三年間、PTA役員として様々な活動をしてきましたが、その活動を通して、子ども達と一緒に成長できたと感じています。

最後の一年は会長という大役を務めさせて頂きました。会員の皆さんと

もに活動できたことが、何よりの喜びと感じています。また、充実した一年を経験することができました。この場をお借りして、感謝を申し上げます。

最後に、まだ一・二年生の保護者の皆様におかれましては、引き続き、江戸崎総合高校を盛り上げるべきPTA活動にご理解とご協力をよろしくお願い致します。本当に、ありがとうございます。

「我以外皆我師」

校長 大和田 淳

「我師」ということばがあります。

どのような人物にも必ず良さがあり、その「人となり」やその人の話には必ず学ぶべき点があります。

PTA会員の皆様、ご子息のご卒業誠におめでとうございます。また、三年前にお預かり致しましたお子様が、このように立派に成長され、本日までたく卒業されますこと、教職員を代表して、心より喜び申し上げます。

人間は、他者との関係性の中でこそ、己を高め、成長できる存在です。この江戸崎総合高等学校での友人や先生方との出会いも含めて、これから皆さんが巡り会う一つ一つの出会いを一期一会の心で大切に、地域や社会に貢献してくれることを祈念しています。

さて、小説「宮本武蔵」で有名な作家の吉川英治氏の言葉に「我以外皆

野球応援

自分は応援団長としてだけではなく、サッカー部員として隣で野球部の努力を見てきました。その事もあり、人一倍がまんばってほしいという気持ちで強くありました。しかも、主力メンバーとして試合に出るのは、学校生活でも共にするメンバー。俺は応援団長。やるしかないという気持ちになり、やる決意をしました。

活動中には様々な課題が起こりましたが、それを克服し無事に団長としての仕事をやり切れました。野球部のみんなには、お疲れ様、そして、見ていて熱くなる試合をしてくれてありがとう、と伝えたいです。応援できて、幸せでした。

3-3 池延 理来

出前授業

今年度、専門系列で学ぶ生徒が中学校を訪れて授業を行う、出前授業が行われました。美浦中、江戸崎中、牛久第二中などを回って授業を行った生徒達は、その多くが人に教えるのは初めて。緊張しながらも一生懸命身ぶり手ぶりを交えながら教える生徒達に、中学生も大きな刺激を受けていました。



グリーンテクノ系列

収穫祭

皆々
ビンゴゲームを
しました



3年生が
豚汁やケーキを
用意してくれました

楽しく
記念撮影!!



皆々
いただきます!!

スイーツコンテスト

私たちは、12月12日に真壁高校で行われた、茨城県農業クラブ連盟主催のスイーツコンテストに参加しました。このコンテストは、茨城県の農業関係高校を対象に学校産・地元産食材を使ったスイーツを開発し、レシピ・外観・味・プレゼンテーションを審査してもらうものです。今年のテーマは、「休み時間にちょっと一口、学校産・地元産を使ったおいしいおやつ☆」でした。

今年は昨年よりもテーマと食べる人のことを意識し、なるべく多くの特産品を使えるように、4種のミニケーキを作りました。レシピを一から作ったのでとても大変でしたが、昨年入賞できなかった悔しさが大きかったため、今回最優秀賞を受賞できたことは本当に嬉しかったです。

今後は、審査員の方からいただいたアドバイスを元に改良し、多方面のイベントで販売し、稲敷市をより元気にしていきたいです。

3-4 橋田 仁美



GAPについて

私たちの行ったGAP(ギャップ)について説明します。

まず、GAPとは、「Good Agricultural Practice」の略です。農業における食品安全・環境安全・労働安全等の持続可能性を確保するための、生産工程管理の取り組みのことを指します。GAP認証には様々な種類がありますが、私たちは茨城県が独自に定めた「茨城県GAP」に取り組みました。

GAP認定のために行ったことは、写真を撮って資料を作ったり、軽油や灯油の整理、掃除の記録、堆肥や肥料・農薬の確認等です。そのために、朝早くから夜遅くまで学校で作業をしました。大変でしたが、GAPが認証されれば、消費者の方々に安全性と信頼性を高めることに繋がるので、取り組めて良かったと思います。

3-4 根本 拓真



北海道農業体験実習に参加して

2-1 木村 まり

私は7月26日から8月7日まで、別海町の加藤さん宅で酪農体験をしてきました。

酪農体験では牛舎の掃除や搾乳、牛を牧場の近くにある草原に誘導する牛追いをしました。牛の後に続いて歩き、棒や長靴の足踏みの音などで牛を驚かせて、草原まで誘導をしました。搾乳をしていく時に、2回ほど牛に足を蹴られ、腕に傷跡が残ってしまい悲しかったです。

体験で特に記憶に残っていることは、牛の出産です。一週間の間に4匹ぐらいの子牛が生まれていきました。生まれた子牛は体が弱く、ずっと元気がなかったのですが、獣医さんが点滴などを打ったりして治療を行い、4日後には本当に元気になって良かったです。

大変な実習ではありましたが、自分が成長できる良い機会、経験にもなりよかったです。

2-4 青山 倫也

私が北海道農業体験実習に参加したきっかけは、学校で農業体験についての説明があったときに、普段体験できないことをやってみようと思ったからです。

大変だったのは、搾乳の作業でミルクを付ける作業です。ミルクを付けるときに牛たちが足を動かして、付けるのが難しかったからです。しかし、普段行うことができない作業をすることはとても楽しかったです。

私はこの体験をする前とした後で2つのことを変えることができたと感じています。1つ目は自分から挨拶をすることができるようになったことです。2つ目は仕事に積極的に取り組めるようになったことです。

乳搾りや牛小屋の掃除は大変でしたが、酪農家の仕事を学ぶことができ、北海道農業体験実習に参加して良かったです。





2018 校内江陵祭



第6回校内江陵祭が10月25日(木)・26日(金)の2日間開催されました。

初日はクラスステージ発表、

2日目は模擬店、クラスや部活動の展示発表も行われ、大いに盛り上がりました。

各部門の結果はコチラ

部門	ステージ発表			模擬店			展 示			総 合		
年次	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3
1 位	1組	2組	2組	2組	2組	1組	1組	1組	5組	1組	1組	5組
2 位	3組	3組	3組	1組	1組	3組	5組	5組	3組	5組	5組	3組
3 位	2組	5組	6組	5組	6組	5組	2組	6組	6組	2組	2組	1組

平成30年12月2日(日)～5日(水) 3泊4日

◆初 日：6:00学校発⇒12:10那覇到着、平和学習

◆2日目：ホテル発⇒読谷村にて民泊体験

◆3日目：民泊⇒班別タクシー研修

◆最終日：首里城⇒国際通り⇒12:25那覇発⇒16:30学校到着

沖縄 修学旅行





「百三十日の平候予餞会が行
われました。吹奏楽部の演奏や
有線バンド、生徒方の出し物があ
り、その後三年間を振り返るその
スライideshowがありました。三
年生はこれまでの高校生活を要
かしさらに振り返りつつ、四月か
らの新学年に思いを馳せていまし
た。平候の時代が幕を閉じよう
とする今、在学中に新しい時代の
江崎を築き、いく津望を新たにし
ていきます。」

予餞会



